



スタッフおすすめ図書コーナー

ているる図書情報室 2階

NEW 7月の新着図書



書名	著者	テーマ	書名	著者	テーマ
大城貴代子 オーラル・ヒストリー	崎原千尋 大城貴代子 編	郷土	ポストイクメンの男性育児 妊娠初期から始まる育児 のススメ	平野 翔大	子育て
自立自尊であれ	OXメンバー	郷土	父ではありませんが 第三者として考える	武田 砂鉄	子育て
ドキュメント・沖縄返還交渉	三木 健	郷土	墨子よみがえる“非戦”へ の奮闘努力のために	半藤一利	哲学
石川・宮森小学校米軍ジェット機 墜落事件 60周年事業 平和メッセージ作品集	NPO法人石 川・宮森630会	郷土	女たちのまつり 上・下	宮原昭夫	文学
芸術論の現在 沖縄からの発信	「開学30周年記 念論集」編集委 員会	郷土	幸せな猫の育て方 暮らし方・遊び方・健康管理	加藤由子	ペット
マンガで伝える沖縄戦 上・下	仲本文子 作 小那覇安剛 監 修	郷土	昭和史：コミック 第6巻	水木しげる	コミック
沖縄の生活史	石原昌家(監 修)、岸政彦(監 修)、沖縄タイム ス社(編集)	郷土	高校球児ザワさん 6～10巻	三島衛里子	コミック
ぜんぶ運命だったんかい おじさん社会と女子の一生	笛美	ジェンダー	戦争は 女の顔をしていない 3	小梅 けいと	コミック
日本をジェンダー平等社会に 講演録	林陽子女性差 別撤廃委員会 委員	ジェンダー	KANA'S STANDARD：スタイ リスト佐藤かなの簡単に作れ て、とことん使える日常着	佐藤かな	ハンドメイド
欲望の鏡 つくられた「魅力」と「理想」	リーヴ・ストロ ムクヴィスト	フェミニズム	七事式「表千家流」花月	堀内宗心	茶道 趣味
「男の子」って、どう育てるの?	金盛浦子	子育て			

ご予約はスタッフまで!

ているるHPから蔵書検索もできます!
<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>



QRコード



わたし8歳、
カカオ畑で
働きつけて。

岩附 由香(著)
合同出版
369.4 /円

「低い賃金で働く子どもたちを使って農水産物を作ることで、生産物の原価が低く抑えられているのだとしたら、そうした生産物を食べる人たちは子どもたちの命と人生を食べているのだ」という本書のコメントは衝撃的です。



私は男で
フェミニストです。

チェ・スンボム(著)
世界思想社
367.2 /円

「家族みんなで食べて、着て、汚しているのに、洗い物も掃除も母だけの仕事なのが納得いかなかった。」と幼い頃に思った筆者は、学生、教師時代の中で男としてフェミニストになった。彼はこうもメッセージを送る。誰でも弱者に置かれることがある、と。弱者や被害者の訴えを詭弁で退けたり、逆に彼らの事を責めたり……といった事が時々起こる世の中に疑問をもつ方へ。ジェンダー問わずお勧めしたい一冊!



「男女格差後進国」
の衝撃

治部 れんげ(著)
小学館
367.21 /円

政府が女性活躍政策を推進しても、諸外国の改善と比較する相対評価では、まったく追いついていけない。長年ジェンダー問題について取材・執筆・実践に取り組んできた著者は「多くの人が、『日本は男女格差が大きい』と実感せずに暮らしていることが、日本が変わっていかない一番大きな原因」と指摘する。本書では、諸外国の取り組みを紹介しつつ「日本で男女格差が縮まらない理由」を考察、国内の成功例を挙げながら、次世代のためにできることを提案する一冊です。



「アンコンシャス・バイアス」マネジメント: 最高のリーダーは自分を信じない

守屋 智敬(著)
かんき出版
336.3 /円

この本では、誰もが潜在的に持っている無意識の思い込みであるアンコンシャス・バイアスについて職場の中で何気なく使ってしまうアンコンシャス・バイアス、使わないようにするためにどうすればいいのかについて図や事例を用いながら分かりやすく書かれています。スタッフはこの本の中で、人前で話をすると「声が震えてしまう」という悩みに対しての著者の言葉と言葉の解釈を互いに確認し合うというところが印象に残っています。アンコンシャス・バイアスについて考えさせられる一冊です。



せやろがい!ではおさまらない僕が今、伝えたいこと聞いてくれへんか?

せやろがいおじさん(著)
ワニブックス
K 304 /円

この本では、SNSで話題となっているせやろがいおじさんことお笑いコンビ「リップサービス」の榎森耕助さんがせやろがいおじさんの誕生秘話や芸人を目指すきっかけ、そして気になる社会問題や政治などにどのように思っているのかについて書かれています。この本の中で伝統と悪習を仕分けていこうかというところと否定的な言葉を言われた際のメンタルの持ち方の部分が印象に残っています。社会問題について面白く考えさせられる一冊です。



サバイバー
池袋の路上から生還した人身取引被害者

マルセーラ・ロアイサ(著)
ころから
368.4 /円

日本でセックスワークを強要されたコロンビア人女性の手記「ヤクザに囚われた女―人身取引被害者の物語」を日本語訳されたものです。日本の人身取引や人身売買について考えるきっかけになるいい本だと思います。



モヤる言葉、ヤバイ人: 自尊心を削る人から心を守る「言葉の護身術」

アルテイシア(著)
大和書房
159.6 /円

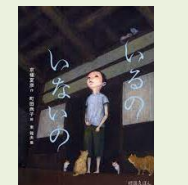
この本では、女性達が日々の生活の中で感じているセクハラやモラハラなどのモヤモヤする言葉や自尊心を削る人への対処の仕方を分かりやすく面白く、さらに自尊心を削られている人に対して温かく優しい言葉で書かれている本です。また、巻末には著者であるアルテイシアさんと弁護士である太田啓子さんの対談でハラスメントを受けたときの「法律の護身術」やハラスメントなど人間関係に悩んだときの相談窓口一覧も書かれています。



琉球妖怪大図鑑

小原猛(著)
琉球新報社
K388 /円

おきなわ全域、中北部・南部の妖怪が知れる沖縄の妖怪大図鑑! 著者は「かんこどりのなく夜」でお馴染みの小原さんです。近くにいると怖い妖怪から、ちょっと会ってみたくなる面白い妖怪など様々! ぜひラジオや夏の眠れない夜のおともどうぞ!



いるの いないの

京極夏彦(作)
岩崎書店
絵本コーナー

人気小説家が描く、怪談えほんシリーズ! 『百鬼夜行シリーズ』などで知られる作家、京極夏彦が描くのは、古い日本家屋にひそむ恐怖……。子供向けの怖い絵本でしょ? と侮るなかれ。大人でも背筋がゾクリとします、めっちゃ怖い。

